



SG

REPORT

チャレンジ カップ

第27回

11/19~24 ボートレース下関

優勝戦1周2マーク



ガッツポーズ



選出順最下位から史上最大の下克上！ 河合佑樹がSG初優勝&GP初出場

チャレンジカップ」。文字通り、グランプリ出場を懸けた最後のチャレンジ。その舞台で、河合佑樹が、過去最大の、大外まくりを決めた。

前検日、手にしたモーターは当地の看板機・21号機。選出順が下位のため、予選は1号艇はなしの5走。1着こそなかったが、予選3日目を終えてオール3連対をキープした。

そして迎えた予選最終日。得点率トップを争う坪井康晴が先にレースを終え、河合は1着で同率同着順のトップで並ぶ状況。ここで河合は3コースから鮮やかなまく

り差しを決めて1着。坪井とは上がりタイム差の争いとなり、河合が微差で制した。

愛機・21号機はとにかく強力だった。「行き足や伸びは誰にも負けない」という言葉通りの節イチ仕立て。あとは自分との戦いだった。SGでは初めての予選トップ通過で準優1号艇。緊張は並大抵のものではないはず。それでも程よい緊張感で行けた」という準備は、インから難なく押し切った。SG初優出。グランプリ初出場まで「マジック1」となった。

甘いマスクでクール。その表情から緊張を読み取るのは難しい河

準優9R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	寺田 祥	1	08
2	②	×	土屋 智則	2	04
3	⑥	△	白井 英治	6	13
4	③	○	齊藤 仁	3	07
5	⑤		森高 一真	5	10
6	④		篠崎 元志	4	14

2連単 ①-② 310円 1番人気 逃げ

3連単 ①-②-⑥ 1670円 6番人気

準優10R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	坪井 康晴	1	08
2	③	△	佐藤 翼	3	02
3	②	○	菊地 孝平	2	07
4	④	×	吉川 元浩	4	03
5	⑤		片岡 雅裕	5	01
6	⑥		瓜生 正義	6	03

2連単 ①-③ 300円 1番人気 逃げ

3連単 ①-③-② 790円 2番人気

準優11R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	河合 佑樹	1	18
2	③	○	池田 浩二	3	17
3	②	△	島村 隆幸	2	19
4	⑥	×	馬場 貴也	6	28
5	④		赤岩 善生	4	21
6	⑤		平本 真之	5	21

2連単 ①-③ 290円 1番人気 逃げ

3連単 ①-③-② 750円 2番人気

優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績				
				出	行	伸	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
◎	◎	① 河合 佑樹		◎	☆	☆	② 三15	③ 五09	②② 四12二16	① 三21	① 一18
○	△	② 坪井 康晴		◎	◎	◎	② 二15	③ 五10	①② 三09四04	② 三06	① 一08
△	○	③ 寺田 祥		◎	◎	☆	② 四07	③① 五11二15	① 一21	④ 六21	① 一08
	×	④ 土屋 智則		◎	◎	○	③① 一16五05	④ 四09	①② 一03三05	④ 六11	② 二04
×		⑤ 池田 浩二	F	◎	◎	◎	⑤ 六14	②⑤ 二11三11	④ 五14	①② 一13五12	② 三17
		⑥ 佐藤 翼		◎	◎	◎	①③ 四12五19	③ 二07	③⑤ 三17六17	② 一24	② 三02

展示速報での採点

12R

- 1 河合佑樹 ☆☆☆☆★
- 2 坪井康晴 ☆☆☆☆
- 3 寺田 祥 ☆☆☆☆★
- 4 土屋智則 ☆☆☆☆
- 5 池田浩二 ☆☆☆☆★
- 6 佐藤 翼 ☆☆☆☆

*当日のスマホマクルで配信したものです

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	河合 佑樹	1.47.1	1	13
2	③	○	寺田 祥	1.49.1	3	18
3	④	×	土屋 智則	1.50.6	4	17
4	⑤		池田 浩二	1.52.6	5	18
5	⑥		佐藤 翼	1.54.9	6	22
不	②	△	坪井 康晴	-	2	23

2連単 ①-③ 370円 2番人気 逃げ

3連単 ①-③-④ 1520円 5番人気

合だが、今シリーズは、援軍の存在も大きかった。同じ静岡支部の菊地孝平は何度もアドバイスを送り、優勝戦で隣に並んだのは師匠でもある坪井。前田将太や上野真之介、そしてSGウイナーの先輩でもある遠藤エミら同期が、心の支えにもなった。

ここでグランプリ条件を振り返っておくと、河合、坪井、そして3号艇の寺田祥は優勝条件。4号艇の土屋智則、5号艇の池田浩二は上位着でグランプリ2ndからとなるベスト6入りの可能性、6号艇の佐藤翼は無事故完走。優勝者だけでなく、2、3着争いにも注目が集まった。

そして迎えた優勝戦。優勝条件の地元・寺田が本番では3カドを選択。スリットでは坪井がやや立ち遅れ、河合にとっては壁なしの状態となったが、動じることはなかった。コンマ13のトップSから先マイに持ち込むと、他の追撃を



許さぬ圧巻の逃げ。ゴール直後はクールな男が熱く左手を突き上げた。ウイニングランでファンの声援に応え、ピットに戻り菊地孝平と抱き合おうと、自然と涙があふれた。102期の同期も全員が残ってレースを見届けた。

この優勝で獲得賞金は8551万円を超え、賞金ランキングは13位までジャンプアップ。SGデビューは2022年のダービーと遅かったが、出場わずか8節でグランプリ出場を勝ち取った。遅咲きのニュースターが満を持して住之江に乗り込む。

戦い終わって—

寺田祥(2着)

スタートが難しく3カドに引いたが、メリハリのないレースになってしまった。

土屋智則(3着)

仕上がりはバッチリでしたし、いいターンもできた。1マークもいい所に入れたし、やれることはやれた。河合ちゃんが強かったですね。

池田浩二(4着)

1マークで坪井選手と接触してしまっただけ。2マークはとりあえず回っただけ。エンジンの感触は良かったと思う。

佐藤翼(5着)

エンジンは万全の仕上がりで挑めましたがスタートは反省点です。この反省を次のグランプリで生かしたい。

坪井康晴(不完走失格)

1マークでキャビってしまった。河合(佑樹)が優勝したのはうれしかったけど、自分もしっかりゴールをしたかった。

戦前から並々ならぬ闘志で臨んだ選手がいた。山口支部のWエース・白井英治と寺田祥の2人だ。グランプリ出場へは、ともに優勝条件。オープニングセレモニーからファンに「どちらかが優勝をかつさらう」(寺田)と宣言。下関でのSGは、寺田が優勝した2020年のメモリアル以来となる開催。普段は寡黙な男が、珍しく気迫を前面に押し出した。

だが白井はエンジンの仕上げに苦戦。予選はイン戦で敗れるなど未勝利。準優も6号艇で乗るのがやっとだった。それでも毎日遅くまで続けたペラ調整や整備が奏功し、日に日に良化。準優は大外から3着に入った。寺田とのワンツーフィニッシュ、優出にはあと一歩届かず「あと、もうひと足が欲しかった」と唇をかんだが、苦境でも最後の最後まで諦めない姿は、多くのファンの心に刺さったはずだ。

そしてチャレンジカップらしい伏兵の活躍が目立つ大会でもあった。毒島誠が妨害失格、峰竜太や

定松勇樹、宮地元輝、松井繁らグランプリ戦士が続々と予選で脱落する中、ダービー準Vの佐藤翼は優出し、勝負駆けに成功。自身初のグランプリ出場を決めた。ダービー以降、近況の充実ぶりがここでも光った。

坪井と齊藤仁は好パワーで戦線を引っ張り、オールスター優出の森高一真も、グランプリ出場へ気合の走りを見せた。坪井はアクシデントもあって優勝戦不完走となったが、愛弟子の活躍にただただ目を細めていた。

売り上げについても触れておきたい。6日間の総売上額は約155億。目標だった175億を大幅に下回った。だが昨年の三国大会は130億、22年の鳴門大会も128億。祝日が土曜日に被ったことなど日程的なことを考えても、大盛況だった。場内イベントは連日活況で多くのファンでにぎわった。「レース場に足を運ぶ」大切さを改めて感じさせてくれるような大会だった。

地元の両雄・白井英治と寺田祥 GP出場逃すも大会を盛り上げた！

絶対にスタートは行くつもりでした 夢みたいで、現実とは思えません！

—今の率直な気持ちを。

(不完走失格となった)坪井さんが心配ですけど、うれしいです。

—SG初優勝。

ほんとに夢みたいな、ほんとにこれが現実なのかっていう感覚です。

—2008年にデビューしてから長かった。

—というよりも僕みたいな選手がSGタイトルを獲得するって最初から思っていなくて。チャレンジカップに来る前に、笠原(亮)さんが「河合ちゃんなら絶対に獲れるよ」って言うてくれたので、その気持ちを持ってレースに臨みました。

—いい緊張感も持って臨んだ。

はい、いつも通り、レースに行きました。

—本番レースは寺田選手が3カド。

絶対にスタートは行かないと思っていました。1マークは少し寄ってしまったけど、しっかり落として回れた。それをカバーできる舟足があった。自信がありました。

—静岡支部の先輩たちも過去、SGタイトルを獲ってきた。

実感は正直、あまりないけど、偉大な先輩たちに少しでも近づけたことはうれしいです。

—レディースチャレンジカップも静岡勢の優勝。

三浦さんが逃げてくれたので、その勢いでしっかりと僕も続くこ

とができました。

—大歓声の中でのウイニングラン。

選手冥利に尽きるというか、本当に感動しました。

—グランプリに初出場。

全てにおいてチャレンジャーだと思って、これからは一走一走しっかり頑張っていくだけです。これからしっかりと準備したいと思います。

—最後にファンにひと言。

応援ありがとうございます。こんなしょぼい選手ですけど、これからも一生懸命、上を目指して頑張りますので、応援よろしくお願ひします。





① 優勝戦本番では3カドから攻めて盛り上げた寺田祥
② 波に乗った時の強さを見せつけた土屋智則

③ 池田浩二はしぶとく立ち回って賞金6位へ
④ 佐藤翼も優出してGP切符を手にした
⑤ 優勝戦では残念ながら不発だった坪井康晴

前検日(11月18日)時点の賞金ランキング

順	選手名	獲得賞金額
1	馬場 貴也	127,064,833
2	毒島 誠	111,391,033
3	桐生 順平	106,318,333
4	茅原 悠紀	97,664,333
5	峰 竜太	93,759,333
6	平本 真之	87,380,466
7	菊地 孝平	85,633,000
8	宮地 元輝	85,914,333
9	定松 勇樹	81,987,000
10	関 浩哉	80,078,760
11	池田 浩二	83,645,000
12	土屋 智則	71,382,333
13	松井 繁	72,149,000
14	西山 貴浩	72,546,333
15	上條 暢嵩	65,951,000
16	瓜生 正義	65,429,999
17	山口 剛	66,401,333
18	丸野 一樹	61,830,833
19	佐藤 翼	59,205,000
20	森高 一真	57,207,266

優勝戦(11月24日)終了時点の賞金ランキング

順	選手名	獲得賞金額
1	馬場 貴也	148,701,833
2	毒島 誠	126,213,033
3	桐生 順平	118,277,333
4	茅原 悠紀	109,653,333
5	峰 竜太	104,026,333
6	池田 浩二	102,463,000
7	菊地 孝平	101,851,000
8	平本 真之	101,463,466
9	宮地 元輝	95,903,333
10	土屋 智則	95,881,333
11	定松 勇樹	95,463,000
12	関 浩哉	93,076,760
13	河合 佑樹	85,515,000
14	松井 繁	82,950,000
15	西山 貴浩	80,604,333
16	佐藤 翼	78,479,000
17	瓜生 正義	76,617,999
18	上條 暢嵩	74,217,000
19	山口 剛	72,898,333
20	丸野 一樹	70,104,833

